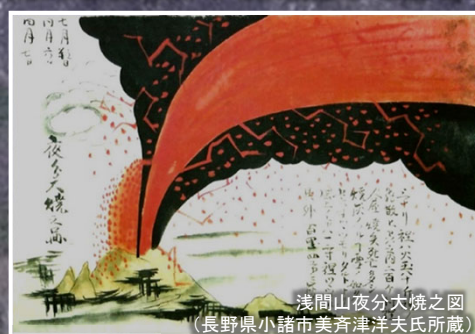


浅間山の火山噴火を想定した 無人化施工機械操作講習会

<浅間山について>

- ◆ 浅間山は、群馬県・長野県の境に位置する活火山で、R6.10現在、噴火警戒レベル2が発令されています。
- ◆ また、有史以降数多くの噴火記録があり、天明3年の大噴火では、火砕流により嬬恋村（旧鎌原村）の一村約150戸が飲み込まれ、483名が死亡したほか、群馬県下では1,400名を超す犠牲者を出しました。



<無人化施工機械操作講習会について>

- ◆ 当事務所では、平成24年度から浅間山の火山噴火に伴う土砂災害の被害をできる限り軽減（減災）するため「浅間山直轄火山砂防事業（火山噴火緊急減災対策事業）」を実施しています。
- ◆ 浅間山が噴火した場合には、積雪期の火砕流による融雪型火山泥流や噴火後の降雨による土石流の発生が予想されるため、これらの土砂災害を軽減するために緊急対策工事を実施します。
- ◆ 緊急対策工事は、噴火が予想される場合に立入禁止区域の外側で実施しますが、作業員の安全を確保するため、遠隔操作式建設機械（以下、「無人化施工機械」）を使用した無人化施工を想定しています。
- ◆ このため、平成19年度よりオペレータの方に無人化施工機械の操作に慣れて頂くことで、噴火時における緊急対策工事の安全かつ円滑な施工を確保するため、無人化施工機械操作講習会を実施しています。



<無人化施工について>

- ◆ 3.6kmの距離がある無人化施工機械の操作席（利根川水系砂防事務所 浅間山出張所会議室）と無人化施工機械（施工現場：濁川第一砂防堰堤）の通信は当事務所CCTV用の光ファイバーの予備芯を用いて構築。
- ◆ 操作席は、運搬・搬入のしやすさを考え、モニター数を最小限にし、操作機⇒ゲーム用コントロースティック、操作席⇒ゲームチェアとし、一般建機と同位置に操作レバー等を操作席へ取付けた。

<浅間山火山砂防見学会>

- ◆ 2014年の御嶽山噴火災害を風化させないために長野県が制定した“信州 火山防災の日(9/27)”に、地域住民の方に事業の取組を知っていただくための、火山砂防工事現場の見学、無人化施工機械の遠隔操作体験などを催した「浅間山火山砂防見学会」を開催しました。

